



## 体 協 だ よ り

# レッツスポーツひたちなか

ひたちなか市体育協会

発行・編集 ひたちなか市体育協会 広報紙編集委員会 〒311-1292 ひたちなか市和田町 2-12-1  
ひたちなか市教育委員会事務局 生涯学習課内 電話 029-273-0111 内線 343, 029-219-7373 直通



## 生涯スポーツへの取り組み

ひたちなか市体育協会 副会長 綱川 正

ひたちなか市体育協会は、市民スポーツの振興・生涯スポーツの振興・生涯スポーツ活動目標として、33種目団体、9地域体育部会及びスポーツ少年団を合わせ、約3万3000人の会員を有し、スポーツによる健康で明るいまちづくりを推進しています。

従来、当協会は専門部（種目団体）主体の活動が中心で、多くの一般市民の方々にあまり知られていないかたたよに感じていました。そこで以前から、当協会の活動状況をもつと市民の方々にも理解をいたくことが、「生涯スポーツの振興」には欠かせないことと考え、広報紙「体協だより レッツスポーツひたちなか」創刊号を、ようやく今年3月に発刊することができました。多くの市民の方々に少しでもスポーツに関心を持つていたいから体を動かすことにつながれば、と思っています。

専門的にスポーツ（運動）を経験した方は、それが未経験のスポーツ

でもすんなりと「やってみようか」と取り組めるのですが、あまり経験のない方は、「恥ずかしさ」が先に立ち、どうしても尻込みしてしまうことが多いようです。また、家でのんびり過ごす時間を大切にしている方々にどうやって「体を動かす気持ち」を持つてもらうか、これはなかなか大変なことです。そういう意味で、「地域体育部会」が大きな役割を持つていると思います。近所の皆様方と一緒に「体を動かす」こんな機会が多くなれば、スポーツ（運動）に親しむ時間が知らないうちに多くなるはずです。各地域で開催される「ひたちなか市民地区秋季大運動会」へ積極的に参加していただきくことがまず手始めになるかと思います。

そしていま、「総合型地域スポーツクラブ」というものが注目されています。「誰でも」「いつでも」「世代を超えて」「好きなレベルで」「いろいろな文化・スポーツ活動を」楽しめる地域のコミュニティが総合型地域スポーツクラブです。今後、各地でその設立の準備が始まっています。皆様方の



ファイト！！秋季大運動会

生涯スポーツへの取り組み	1 頁
時代に即応した体協運営に向けて	
構成各団体紹介	3 ~ 7 頁
スポーツドクターアドバイス	2 頁
H22 体育協会総会報告	7 頁
構成各団体紹介	3 ~ 7 頁
スポーツドクターアドバイス	2 頁
H22 体育協会総会報告	8 頁

目 次



**時代に即応した体育協会運営に向けて  
ひたちなか市体育協会理事長 大和田 健**

平成 6 年 11 月に旧勝田市と旧那珂湊市の合併に伴い、当協会は、平成 7 年 4 月に『ひたちなか市体育協会』として設立され、ひたちなか市民の市民スポーツ・生涯スポーツの振興を図り、健康で明るい市民生活の向上発展と青少年の健全育成に寄与して参りました。

当協会は、33 団体の専門部、9 団体の地域体育部会、及びスポーツ少年団本部で構成され、日々、市民スポーツの振興を図り、明るく豊かな生活形成に寄与することを目的に各加盟団体が自主的に活動しております、年間 200 回を超える大会を実施しております。

しかし、発足以来 15 年を経過し、現在、少子高齢化や余暇時間の増大など社会構造の急激な変化に伴いスポーツに対する多様なニーズが生じております。そこで、当協会では、時代に即応した組織の見直しや円滑な運営推進を図ることを目的に、昨年度より 3 名の副理事長を部会長に、16 名の常任理事と若干名の理事の方々を加えて、運営・事業・広報に関する 3 つの

検討部会を立ち上げました。そして、運営に関しては規約や加盟団体の育成・支援策の見直しなどを、事業に関しては新たな体育協会主催大会事業の創設や体育協会活性化事業の導入などを、広報に関しては「体協だより レッツスポーツ」ひたちなかの発刊などを鋭意検討し、一部についてはすでに実施してきたところです。また、同時に地域体育部会連絡協議会を設置して、地域スポーツ指導員を通じた体育協会並びに各地域間のスポーツの連携と活性化を図るように努めているところです。

一方、行政との連携として、当市が毎年 1 月に主催しております「勝田全国マラソン大会」には、当協会加盟の各団体より補助員（昨年は 678 名）を派遣し、受付・荷物預かり・交通整理等の業務を支援しております。また、12 月の当市主催の「三浜駅伝競走大会」では、市陸上競技協会との連携により主管大会として運営を担当しており、地域スポーツ指導員、各専門部からの多くの補助員のご協力の下、毎年、本大会の成功に寄与しております。

また、今年度からは、年間を通して海辺を活用しながら海辺を守るという趣旨により阿字ヶ浦海岸

岸において開催されている「ビーチライフふれあいフェスティバル in 阿字ヶ浦」に、里浜づくりの一定程度として、ビーチクリエーションエリアの各種スポーツを担当し、ビーチサッカー・ニュースポーツ・ヘルスバレー・ボール等の運営に協力していく予定です。また、当協会が推奨しております「ゴミバスター」に、スポーツ少年団員 3000 名の参加をもつて地域貢献していく計画も立てております。

今後、専門部におけるさらなる活動の推進を図るとともに、地域では市民一人ひとりが健康で明るく元気に暮らすことができる市民参加型の新たな企画や、スポーツ分野に限らず多くの皆さんのが参考にしていただける講演活動の推進などを検討し、当協会の活性化及び市民スポーツ・生涯スポーツの普及に向けて努力して参ります。

このように、当協会は新たな局面を迎えておりますが、専門部の活動と地域の市民生涯スポーツを両輪に、協会内の対話と協働を推進し、先輩方のこれまでのご苦労に感謝しつつ、さらなる組織の充実・発展を図つて参る所存です。みなさまのご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

**体育協会関連行事日程**

◇ビーチライフふれあい  
フェスティバル in 阿字ヶ浦

期日 7 月 5 ~ 10 月

地区秋季大運動会  
会場 阿字ヶ浦海岸

◇第 16 回ひたちなか市民

期日 10 月 10 日 (日)  
会場 市内各地区

◇第 12 回Wリーグひたちなか大会  
(女子社会人バスケットボールリーグ)

期日 10 月 15 日 (金)  
2 月 10 日 (木)

◇2010 オリンピックデーラン  
会場 総合体育館

期日 11 月 14 日 (日)  
ひたちなか大会  
あのオリンピックアスリートと一緒に走ろう！

◇第 65 回三浜駅伝競走大会  
会場 総合運動公園

期日 12 月 5 日 (日)  
ひたちなか市  
→ 大洗町コース

◇平成 22 年度ひたちなか市  
体育協会振興大会

期日 平成 23 年 1 月 9 日 (日)  
会場 ホテル クリスタルパレス

◇第 59 回勝田全国マラソン大会  
会場 東海村公認コース

期日 平成 23 年 1 月 30 日 (日)  
ひたちなか市





みなと TWC の勇姿

## 綱引きのおもしろさ

会長 大内 秀一

今や綱引きは、運動会の種目に留まらず、普段から気軽に楽しめるスポーツとして定着してきました。毎年、各地での多くの大会の他、全日本綱引選手権も開催されています。綱引きは盆や正月に行われていた農作物の豊凶を占うための神事だったようです。勝敗は一目瞭然で、8人ずつで引っ張りあって 4m 引き込んだ方が勝ち。

まさに、力と力のぶつかり合いで、迫力満点の競技です。毎年 11 月上旬に子ども会と共催で「ひたちなか市民綱引大会」を開催しております。

昨年度は、茨城代表として、我がひたちなか綱引連盟の「みなと TWC」が全日本選手権に初出場し、全国の強豪を相手に戦つきました。那珂湊中にて毎週土曜の夜に練習に励んでおりますので、興味のある方は是非お出で下さい。

レッツスポーツひたちなか

ゴルフ大会は、今年で第 30 回を迎えようとしています。このゴルフ大会は昭和 40 年代から盛大に行なわれていた長い歴史のある大会であり、旧勝田市と旧那珂湊市の合併後もいち早くゴルフ連盟が開始した大会でもあります。

この第 30 回大会の節目を迎えるに当たり、今までこの大会を支えていた先輩、大会毎に多大な賛助金、賞品、記念品を提供していただいた数多くの皆様、大会毎に快くチャリティ基金に協力していただいた大会参加者の皆様、そして大会会場をいつもご準備いただいた勝田ゴルフ倶楽部のご協力を感謝します。

節目の大会を成功させて一段と躍進をしたいと願っていますので、皆様の積極的なご参加をよろしくお願いします。期日については市報にてお知らせします。

第 29 回大会女子の部  
優勝者の挨拶風景

## ひたちなか市ゴルフ連盟

会長 大和田 邦朗

## 中学校体育連盟の活動

会長 高野 誠



中体連サッカー大会

ひたちなか市中学校体育連盟は、ひたちなか市中学校体育の健全なる普及発展に資することを目的に結成されています。市内全 9 中学校（勝田一・勝田二・勝田三・佐野・大島・田彦・那珂湊・平磯・阿字ヶ浦）が加盟し、中学校体育に関する調査研究と諸団体との連携を進め、ひたちなか市中学校体育行事の開催を担っております。

中学校体育行事の柱は、中学生の運動部活動の集大成である 6 月下旬に開催される「総合体育大会」と、一・二年生による 9 月下旬の「新人体育大会」です。



中体連女子バレー ボール大会

大会は、ひたちなか市総合運動公園をはじめ、市内の体育施設で、全十種目を行っています。陸上競技（男女）・軟式野球（男）・サッカー（男）・ソフトテニス（男女）・ソフトボール（女）・バスケットボール（男女）・卓球（男女）・柔道（男女）・剣道（男女）です。

市の大会を勝ち抜くと、中央地区・県大会へと進んで行きます。関東・全国大会で活躍する学校も増えており、ひたちなか市中学校の体育レベルの高さを物語つております。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

U23 全日本ラテン優勝  
久野・和田組

ダンススポーツ夢追い続け 30 年  
会長 田中 秀朗

会長 喜世子

生涯武道を目指す「なぎなた」  
クラブ代表 寺門 喜世子

インディアカ連盟活動の紹介  
理事 橋須賀 千秋

ゲートボールへの誘い  
会長 清水 正良

「なぎなた」は、我が国の伝統武道の一つです。古くからあつた流派も現在では全国的に技術と方法が統一され、幼少年から高齢者までの必修科目となります。当連盟は全国に先駆けジュニア育成に努めできました。今年 23 歳以下の全日本ダンススポーツ杯選手権では当ジュニア出身の久野・和田組がラテンを制し、後続組も健闘しました。

## 二・若々しさと健康を求めて

当連盟では 7 割の方々が競技選手としてではなく、生涯スポーツとして楽しんでいます。この方達を支援するためビギナー講習会、基本の習得を推進する基礎技能認定会、向上心に応える技術講習会などを定期的に開いております。

また、各々が培った力を競う大会「ダンススポーツフェスティバル IN ひたちなか」や、ふれあいの場としての連盟主催ダンスパーティーなどを展開しております。

「なぎなた」は、古くからあつた流派も現在では全国的に技術と方法が統一され、幼少年から高齢者まで生涯武道として幅広く普及してきました。昭和 58 年度から国体の正式種目に採用されておりました。近年、全国レベルの大会も年々盛んになっており、国体の前哨戦である都道府県大会、選手権大会、大学生・高校生・中学生等の全国大会、小・中学生の親善大会、60 歳以上の高齢者の全国大会であるねんりんピック、年齢別・段級別のエンジョイ大会など、数々の全国大会が開催されています。

ひたちなか市では、昭和 58 年に「勝田なぎなたクラブ」が、昭和 60 年には「勝田なぎなたスポーツ少年団」(現在はクラブに統合)が組織され、毎週水・土曜日に活動しています。毎年 3 月末には、体験講習会を開催しています。興味のある方は、是非ご体験下さい。



小学生も一緒に稽古



第 16 回インディアカ連盟大会

ゲートボールへの誘い  
会長 清水 正良

ゲートボールは、もとはフランスで始められイギリスに伝わった打球戯(クロッケー)をヒントに、1947 年北海道に住んでいた鈴木和伸氏が青少年のために考案した日本生まれのスポーツです。15 ~ 20 m のコートに設置された 3 つのゲートと 1 つのゴールボールを、各競技者がボールを規則に従うステイックで打つてゲートを通過させて上がりを競う 5 人対 5 人のチーム対抗競技であります。

ボーラーの直径は約 8 cm、重さは 230 g のプラスティック製で赤・白各 5 個ずつです。皆さんは、お近くの広場、または公園の片隅等で競技をしているところを見たことがあるかと思いますが、その場で声を掛けてみては如何でしょうか? どなたでも優しく接し、説明をしていただけることと思います。何はともあれ「食わず嫌い」では本当に勿体ないことです。どんな形であれ、まず食べていただきたいのであります。そして、何よりも私たちのこの人生では『健康第一』です。その健康を維持せらるためには、太陽にあたり適度に身体を動かし生活をせねばならないと思います。さあ、皆さん! 発想の転換をしてまずは声を掛けみて下さい。



第 6 回ひたちなか市「みんなで遊ぼうニュースポーツの集い」

春のレクリエーション  
ヘルスバレーボール

「いつでも・だれでも・どこででも」を合言葉に、市レクリエーション協会では、生涯スポーツ・レクリエーションを「楽しく伝える」クリエーションを「楽しく伝える」支援者として、健康づくりや高齢者・障害者福祉・子育て支援、保育教育、地域づくり、環境教育など幅広い領域で活動しております。主な行事は、ニュースポーツの普及活動や自然とのふれあいの中での創造性を豊かにする「森のクラブ」など、レクリエーションに親しむ場所を提供しながら、地域の皆様方と一緒にになって楽しんでおります。各種行事につきましては、その都度、市報でお知らせします。

「いつでも・だれでも・どこででも」の合言葉で、手軽に遊んでみませんか。私たち会員一同、皆様方のご参加を心よりお待ちしております。各種行事につきましては、その都度、市報でお知らせします。

「いつでも・だれでも・どこででも」の合言葉で、手軽に遊んでみませんか。私たち会員一同、皆様方のご参加を心よりお待ちしております。各種行事につきましては、その都度、市報でお知らせします。



一中地区秋季大運動会

レクリエーション協会の活動紹介

理事長 横村 健一  
会長 畠野 カツエ  
部会長 萩谷 寛  
会体育部会の活動について  
会体育部会の活動について  
部会長 萩谷 寛  
ひたちなか健康体操クラブは、昭和 53 年、「健康で文化的な生活を」を目的に発足し、その後、あすか・クローバー・ナイスレディと 3 支部に分かれ活動しています。現在会員は、216 名で年間を通してそれぞれの支部で事業を計画し、実行しております。

年に 2 回、3 支部合同のレクリエーション大会を行い、5 月 14 日には、松戸体育館において体育指導委員のご指導の下、ヘルスバレー ボールを楽しみ、快い汗を流しました。

NHK 水戸放送局の地デジ番組に、講師の大平先生とともに出演しました。  
健康に感謝  
・  
・  
・

主な活動は、地域住民が参加しやすいスポーツ・レクリエーションの企画・運営であり、地区秋季大運動会を筆頭に年間 10 大会を主管・主催しています。一中地区的最大の特徴は、住民・自治会数が多いということです。14 の自治会をまとめ、事業を展開することは大きなパワーを必要としますが、また同時に大規模な大会を開催できる喜びもあります。

多くの人の参加があつてこそ前述の目的を達成し、更には地域の活性化につながっていくと考え、開催する大会も専門性の高い競技からだれでも気軽に参加できるものへの変更にも取り組んできています。例えば、バレー ボールからソフト バレー ボール、バドミントンからファミリーバドミントンへの変更やインディアカ、ペタンク、グラウンドゴルフなどニュースポーツの普及を行つてきました。

ちよつとユニークな活動として

は、ひたちなか海浜鉄道湊線の支援とスポーツ・レクリエーションをコラボした「レツツウォーキング」を企画して今年で 4 回目を迎えた。これは勝田駅から阿字ヶ浦駅まで湊線に乗り、それからひたち海滨公園までウォーキングして公園内を散策してくるというものです。毎回 300 名程度の参加者があり、湊線も 3 両増結してもらつて行つており、かなりの成果を上げていると思つています。

私たちが、明るく・楽しく・元気良く生活していくには、自分自身の健康は元より、適度な地域との係わり合いが大切ではないでしょうか。体育部会で主管・主催している事業については各地区選出の地域スポーツ指導員が中心となつて参加の呼びかけを行つています。気軽に参加して下さい。お待ちしています。

二中 学区 体育 部会 の 紹介

部会長 鳴井 實

二中学区体育部会の紹介  
部会長 鳴井 實  
二中学区の体育部会は、スポーツ、レクリエーションの振興を図り地域住民の健康づくりに寄与することを目的として昭和52年にスタートしました。11自治会から推薦された22名と部会長推薦の21名、合計43名で当体育部会は構成され、次のような年間6回の主な事業を開催しています。

年齢が76歳、最高92歳が2名おられ、元気一杯にプレーを楽しみました。また、6月末に二つの球技大会を開催しております。ソフトボール大会は津田運動広場で実施し、例年10～12チームが参加しています。女性も参加するようになります。女性投手の力投が目立ちました。駐車場のスペースが狭いのが主催者の悩みの種です。バーレーボール大会には例年6～9チームが参加しますが学区内全域からの参加が望まれます。一方、10月の市内一斉の運動会では、延べ参加人数は3500名に達します。出場者の最も多い種目が「子ども会対抗リレー」で、



## 高齢者レクリエーション大会

平成 21 年度は参加者が合計 420 名（35 チーム、各 12 名）になり、所要時間も 1 種目としては最長の 35 分を要しました。12 月第 2 日曜日の卓球・ピンポン・ラージボーリ大会については、平成 21 年度は新型インフルエンザの影響で 3 月 7 日に延期しました。年度末ということもあり、参加者は例年を大幅に下回り 94 名でした。そして、2 月第 2 日曜日のインディアカ太会ですが、競技の部（4 名で正式のもの）と一般の部（6 名で普及用）に分けて実施しており、平成 21 年度は中学校バレーボール大会と重なったため、参加人数は 65 名に止りました。なお、勝田全国マラソン大会等にも協力しています。

## 前渡を明るく住みよくする会 体育部会の活動紹介

前渡を明るく住みよくする会  
体育部会の活動紹介

理事長 藏光 泰  
当体育部会は当初「三中学区体育会」として、体力づくり・地域住民の交流と親睦を図ることを目的に、スポーツ愛好者が中心となって昭和52年9月にスタートしました。翌53年には地区自治会との協力で、第一回勝田三中学区運動会を開催し、昭和54年7月に勝田市で最初の「ミニテイ組織「前渡を明るく住みよくする会」が発足しました。その後、昭和62年に「体育部会」と改名し、前渡地区運動会も今年で33回目を迎えます。

体育部会の恒例行事は、春季柔道大会（ソフトバレーボール、ソフトボーラー）、小学生を対象とした夏休み親子水泳室、新春レクリエーション大会（小学生のドッヂボール大会・なわとび大会、大人のインディアカ大会）を実施しています。また、前渡を明るく住みよぐする会が秋開催している「前渡ふるさとまつり」においては、地域農家から杵・臼・釜等を借用し、餅つき実演販売で協力参加しています。餅つき実演は毎年、中学生の協力を得ており、体育部会員と中学生の元気な掛け声でたいへん好評です。

本年度はニュースボーツの普及を兼ねて春季球技大会の中でヘル



## ヘルスバレー ボール大会

スバレー・ボール大会を開催しました。ヘルスバレー・ボールは、楕円球の大型ビニールボールを使用しボールに触る機会の多い、みんなが楽しめる競技で、今年の「ゆめ半島千葉国体」のデモンストレー・ションス・ボーツに採用されていました。参加12チームで体育館いっぱいに歓声が響き、熱戦が展開され、初代チャンピオンには足崎団地チームが輝きました。

これからも、こどもから大人まで楽しめる行事を企画し、お互いに力を出し合い、汗を流し助け合いい、すばらしい仲間づくりができるよう、体育部会一丸となつて取り組んでいきたいと思います。

## 湊中学区地域を住みよくする会 体育部会の活動紹介

事務局長 笹島 豊

成8年9月に「湊中学区体育部会」として誕生し、その後コミュニティ組織の設立によりその中の部会と位置付けが変わりました。地域におけるスポーツ・レクリエーションの振興を図り、住民の健康で豊かな生活形成に寄与することを目的としております。現在は、各自治会から推薦された地域スポーツ指導員35名・体育指導委員10名・会長推薦12名の合計57名のメンバーで構成され、歩く会・秋季スキー大会・グラウンドゴルフ大会を三大事業として活動しております。



海浜鉄道塗線付近を行く歩く会の面々

体育部会の活動紹介

事務局長 笹島 豊

当体育部会は、湊中学区地域を住みよくする会（19自治会・約4800世帯）の発足に先がけ、平成8年9月に「湊中学区体育部会」として誕生し、その後コミュニティ組織の設立によりその中の部会と位置付けが変わりました。地域におけるスポーツ・レクリエーションの振興を図り、住民の健康で豊かな生活形成に寄与することを目的としております。現在は、各自治会から推薦された地域スポーツ指導員35名・体育指導委員10名・会長推薦12名の合計57名のメンバーで構成され、歩く会・秋季スポーツ大会・グラウンドゴルフ大会を三大事業として活動しております。

自主的に参加する素晴らしいものになっております。グラウンドゴルフ大会は、今年で5回目となり、この7月に那珂湊運動公園内にコースを設置して楽しい半日を過ごすことができました。参加者にはリピーターも多く、地域のスポーツ事業として定着しつつあります。なお、独自の事業ではあります  
んが、11月に開催されるコミュニティまつりには体育部会として模擬店部門を担当し、地域住民とふれあいながら、一日中、焼きソバ作りなどに奮闘しております。

今後とも、スポーツに関する様々な企画・運営を行うことによつて体力増強を図るとともに地域住民同士の融和により住みよい街づくりに貢献できるよう、部会員一丸となつて頑張っていきます。

今後とも、スポーツに関する様々な企画・運営を行うことにより、体力増強を図るとともに地域住民同士の融和により住みよい街づくりに貢献できるよう、部会員一丸となつて頑張っていきます。

スポーツをする人の中には、一度位は足をつった経験があると思します。いわゆる、こむら返りですが、ふくらはぎ（こむら）に高頻度にみられるために、こう呼ばれてます。原因は、筋肉そのものの病気、神経の病気の場合もありますが、今回はスポーツの最中、及びスポーツの後に起こるこむら返りについてお話をします。

追いつかず、筋肉に疲労と共に乳酸が蓄積され、筋肉を異常興奮状態にして筋肉が不規則な収縮をするためです。

でも、起こつてしまつたら、何らかの方法でその異常な筋肉の収縮を除去しなければなりません。ここで焦つて収縮している筋肉を無理に伸ばそうとすると、筋肉が切れたり、不規則な収縮を再び起こす可能性があります。ゆつくり時間をかけてマッサージ等をして血流の改善をしながら伸ばすようにして下さい。

こります。また、運動中に次の動作に移る時、つまり、ジャンプやダッシュを繰り返した時にも起こりやすいです。

特に疲労した訳ではないけれど精神的に極度の緊張状態、つまり大事な大会のスタート前とか、脳の運動中枢が興奮しすぎて起こることもあります。

また、栄養面からのサポートとして、シジミ等の貝類に多く入っているタウリンが予防によいという報告があります。もちろん、ビタミンE、カルシウム、マグネシウム、カリウム等をバランスよく

でも、やはりこむら返りは、疲労との関係が強く、マラソンや試合時間の長いラグビー、サッカーの試合後半に多いようです。これは、長時間の運動により、筋肉の正しい収縮に必要な酸素の供給が

また、多量の汗と共に失われるミネラルと水分をバナナ等のフルーツやスポーツドリンク等で補給することを忘れずに楽しくスポーツして下さい。



スポーツドクターアドバイス

勝田病院  
整形外科  
浦川圭一先生



平成 22 年度体育協会総会

報告第 2 号では、長年体育協会でご活躍された功労者 2 名の方に功労者表彰式を挙行し、感謝状と記念品を授与した。

柔道連盟 小林 正吾 様  
ゲートボール連盟 河野 徳司 様

その他  
議案第 2 号について  
ひたちなか市体育協会基金規程について  
報告第 2 号  
平成 22 年度ひたちなか市体育協会功労者について

本年度のひたちなか市体育協会総会が、平成 22 年 5 月 26 日（水）にワークプラザ勝田にて川崎副理事長司会の下、出席者 70 名・委任 62 名で開催された。

来賓として、佐藤市議会副議長、青野教育長、木村教育次長が臨席された。

本間会長の挨拶、来賓挨拶などに続き、議題に移り、下記の 2 件の報告事項があつた他、認定事項 1 件、議案 5 件が慎重に審議され承認された。

議案第 1 号は、体育協会旧規約を現状に合わせて改正しようとしたもので、大きな変更はない。議案第 2 号は、これまでの各専門部

への助成金の算出基礎内訳を登録人數に 90 円を乗じた額としていたものを 120 円を乗じた額に改正し、各専門部の財源基盤を強固にして活動の活性化を図つたものである。議案第 4 号の平成 22 年度予算案では、歳入合計が減少する中、協会職員の人事費を抑制する等、すべての経費を見直し事業費の増額を図っている点が特徴である。

報告第 2 号では、長年体育協会でご活躍された功労者 2 名の方に功労者表彰式を挙行し、感謝状と記念品を授与した。

報告第 2 号  
平成 22 年度ひたちなか市体育協会功労者について

ひたちなか市体育協会助成金算出基礎内訳の一部改正について  
事業計画について  
議案第 3 号

ひたちなか市体育協会規約の全部改正について  
監査報告  
議案第 1 号

ひたちなか市体育協会規約の全部改正について  
監査報告  
議案第 2 号

ひたちなか市体育協会助成金算出基礎内訳の一部改正について  
事業計画について  
議案第 4 号

平成 22 年度ひたちなか市体育協会歳入歳出予算について  
議案第 5 号

レッツスポーツひたちなか



功労者表彰式

なお、例年、総会終了後に行つてきた懇親会は、簡素化という時代の流れにより、今年度は見送られた。

平成 22 年 7 月 6 日（火）、取手市体育協会メンバー約 30 名が視察のためにひたちなか市を訪れ、総合体育館において、当市体育協会役員と意見交換を行つた。

双方の挨拶の後、大和田理事長より当市体育協会の活動内容として、①体育協会組織と運営について、②スポーツ振興活動状況について、③体育施設指定管理者及び行政との係わりについて、などが概要説明され、それに続き、質疑応答が活発に繰り広げられた。その後、当市の体育施設を視察して、帰路についた。

## 取手市体育協会メンバーの來訪

### 編集後記

連日の猛暑の中、無事、第 2 号の編集作業を終えることができました。寄稿いただいた皆さんに深く感謝申し上げます。今後とも親しみのある紙面づくりに努力して参りますので、皆さんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。（高場）

【体協だより編集委員】  
委員長 高場 恵子  
委員 蝦名不二夫  
委員 斎藤 純子  
委員 古川 由治  
委員 助川 保彦